

三郷市文化財サポーター会報

きょうはし

時の階

平成 28 年冬号
(第 2 号)

平成 28 年 2 月 1 日発行
三郷市文化財サポーター代表
発行：記録広報部会
事務局：生涯学習課

048-930-7759

平成 27 年度特別展

三郷のだからもの

開催しました

あけて

おめでとうございます

早いもので、三郷市文化財サポーターの二年目の活動もすでに半年以上が経ちました。

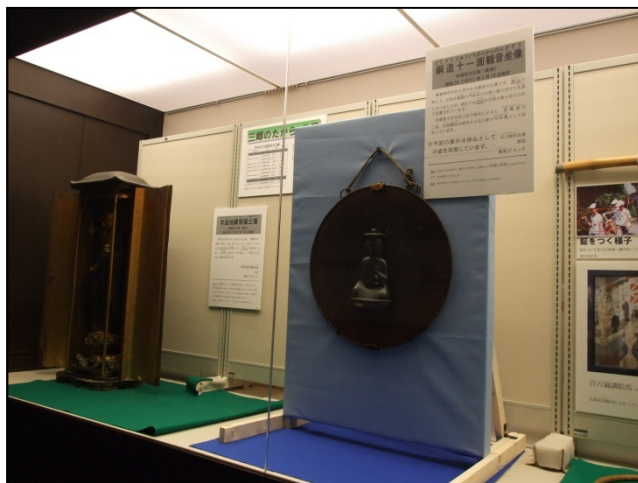
この間、いろいろな展示や企画で、サポーターが活躍したことを言はしく感じています。

新年が三郷市文化財サポーター活動にとって、ますますの飛躍の年であることを願ってやみません。



平成 27 年 11 月 14 日、平成 28 年 1 月 24 日まで、郷土資料館にて特別展「三郷のだからもの 郷土と市民の大事な宝」が開催されました。

市民の皆様から寄せていただいた昔懐かしくなるような思い出の品々から、市指定文化財の二軀の仏様まで貴重な品々が一堂にそろった素敵な展示になりました。



三郷市文化財サポーターも準備段階から、市の生涯学習課のみなさんと協力し、さまざまな場面で特別展の開催に携わることが出来ました。私たち文化財サポーターがかかわることで、より市民目線の親しみの

ある展示になったのなら、とても喜ばしいことだと感じています。



11 月 4 日、13 日までの臨時休館中、文化財サポーターも参加して展示替えが行われました。

大変な作業ですが、郷土資料館の展示に直接たずさわれる、サポーターにとっては一番楽しいひと時でもあります。

特別展の展示品から

今回の展示には、文化財サポータ

ーからも数多くの資料が寄せられ、

展示されました。

早稲田団地公団

分譲住宅募集パンフ

菅原四平氏

「昭和55年早稲田団地第一期募集パンフ。」

パンフには「ニュータウン三郷は

近い将来一大コミュニティになりま

す」とありました。」



大相撲ダイジェスト

久木田寛邦氏

「私は少年のころ大相撲のファンで

毎日の新聞記事を場所ごとにダイジ

エスト版として残り、60年大事にし

ています。」



オリンピック東京大会

日本陸上競技後援会記念メダル

相徳昌平氏

「小生、サラリーマン初年、昭和39

年10月に開催された。

メダルは入社記念にももらった。

オリンピックはカラーテレビで初

めて観た。ダブルの感動であった。」



給与明細帳

菅野トシ子氏

「金の卵と言われた時代のお給与

です。」



特別展記念講演会

雅楽 龍笛の調べとおはなし

12月12日(土)に、彦成小学校

講堂記念館において、特別展記念講

演会「雅楽・龍笛の調べとおはなし」

が開催され、わたしたち文化財サポ

ーターからも多くの方が参加しました。

講演会は三郷市教育委員会の大石

生涯学習部長のあいさつから始まり、

いつも私たちサポーターを指導して

下さっている文化財専門嘱託員の浅

野先生による民俗文化財の特性や見

方、扱い方についてのお話がありま

した。

その後、三郷市万作踊り保存会の

みなさんによる市指定文化財にも指

定されている「万作踊り」、さらには

宮内庁式部職楽部元首席楽長、安齋

省吾氏による講演が行われました。

普段、あまり伺つことのできない

雅楽についてのお話に参加者のみな

さんも、興味津々だったようです。

「三郷の結婚」

聞き取り調査

近藤 伸子

10月13日、文書資料部会の熊沢と近藤は、「三郷の結婚」についてのお話を聞くために堀切氏宅を訪問した。今度、資料館の展示の模様替えをする事になり、わたしたちは「三郷の結婚」についての展示を受け持つことになったからである。

堀切氏は彦川戸にお住まいで、三郷市の文化財保護審議会長（現在は委員）をされ、三郷の文化財にご造詣の深い方である。奥さまもお揃いでとても気持ちよく対応していただいた。

お二人は昭和29年の12月に祝言を挙げられたとのこと。その当時は

ご自宅での挙式だったそうで、興味深い結婚写真と幾枚かを見せていただいた。大切なお写真にもかかわらずその中から4枚をお貸しいただいた。



花嫁は婚家に入るときは玄関からではなく御勝手口から入ったとか、御見合では、出されたお茶を相手が飲めばOK、飲まなければこの縁談は不成立という暗黙のきまりがあったというお話には私たちは驚いたり思わず大笑いをした。

祝言の宴会は夜中まで続いたが、家の外には近所の人たちがたくさん集まって、障子に穴をあけては中を覗こうとする。そこで大盛りの御赤飯を差し出すと近所の人はその持

って引き下がったなど、現在では考えられないような面白い光景も聞かせてもらった。

結婚の話に止まらず、堀切氏の話は多岐に及んだ。かつては三郷でもお茶の生産が盛んで、そのお茶を焙じるために、古文書などの和紙に糊を付けて幾枚にも重ねたものを火にあててお茶を焙じたので古文書が消失してしまったなどの話はとても興味深かった。また三郷は東京に隣接しているので野菜栽培が昔から盛んで農家は野菜からの日銭が入り、お小遣いをもらえる子供が多く、学校帰りにお煎餅を買い食いする子どもがたくさんいて、他の地域から赴任してきた学校の先生を驚かせたという。

このほか三郷の歴史についても専門的な知識が豊富で、私たちは堀切氏のお話にすっかり聴き入って、時間の経つのを忘れてしまった。

堀切氏のご持論は「民俗学は見たまま、ありのままを記録しなければならぬ」というお考えで、私たちもそのことを深く心に留めなければと思った。



葛飾区郷土と天文の博物館 見学&ボランティア交流会

12月13日(日)に東京都葛飾区

の「郷土と天文の博物館」の見学会
ならびに「郷土と天文の博物館」の
ボランティアのみなさんとの交流会
が開催され、多数のサポーターが参
加しました。

午前中は谷口榮先生による展示解
説を伺いながら、館内を見学しまし
た。



正倉院文書にも嶋俣里として記録
に残る柴又八幡神社古墳や中世の葛
西城からの出土遺物など豊富な展示
遺物にみな感嘆の様子でした。

その後、葛飾区のボランティアの
方々との交流会を持ちました。

葛飾区では毎年10月に発掘を行
うこのことで、現在は出土遺物の整
理をされていて、わたしたち三郷市
文化財サポーターも整理作業をお手
伝いさせていただきました。



葛飾区のボランティア制度は全国

的にも先進的な活動を展開している
ことで知られており、その活動につ
いて学べたことは大変に良い勉強に
なりました。

地理的事情の違いはありますが、
ぜひ私たち三郷のサポーターの活動
も葛飾区のように活発で継続的なも
のにしていかなければという思いを
新たにしました。



帰路 立石様や葛西城跡といった
葛飾区内の史跡をバスで巡回しまし
た。あいにくの天気でしたが、柴又

八幡神社ではバスを降りて見学しま
した。

ご同行下さった文化財保護審議員
の堀切貞司様からいろいろな説明を
いただきました。

三郷にもいろいろな史跡があるの
で、調べて魅力を発見していきたい
ですね。

編集後記

広報誌第2号いかがでしたか？

今回も編集をしながら、改めて活動
の多彩さに驚きました。

とはいえまだまだ足りない部分が多
いことを葛飾区との交流会に参加して
実感したのも事実です。

私たち三郷市文化財サポーターの活
動も、ほかの地域の模範となるような
ものになっていければいいと感じま
した。